

# TNT 製品でよく使うファイルの拡張子

ご存知でしたか? ... TNT 製品で使われるファイルの拡張子についてご紹介します。  
数はそれほど多くありません。

マイクロイメージ社は、TNT 製品を設計する際、ファイル拡張子の数を最小限にとどめ、なるべくユーザに見せないようにしています。しかし、幾つかはどうしても必要であり、以下のファイル拡張子はユーザがよく目にするものの一覧です。



ファイル拡張子	説明
RVC	ラスタ・ベクタ・CAD・TIN・データベースなどのオブジェクトやそれらに関連するサブオブジェクト (コントラストテーブル・ジオリファレンス・表示パラメータなど) から構成される、TNT 製品の統合データ構造の名称 (プロジェクトファイルと呼びます)。
 * ATL	TNTAtlas を開始するためのファイル。アトラスウィザード (Atlas Wizard) やハイパーインデックス (R) リンカ (HyperIndex Linker) ツールを使って作成します。
 * SIM	TNTsim3D でリアルタイム表示できるように最適化したテクスチャや地形レイヤから構成されるファイル。景観ファイルの作成 (Landscape Builder) 処理で作成します。
 * SML	TNT 製品の空間操作言語 (Spatial Manipulation Language (SML)) を使って書かれたファイル。ユーザの処理目的に合わせて、ラスタ・ベクタ・CAD・TIN・データベースオブジェクトを処理します。
GSF	主に表示を通して、空間オブジェクトを加工したり、複数オブジェクトを組み合わせて新たなレイヤの計算を行う特殊なスクリプト (ジオフォーミュラと呼ばれます)。
QRY	ベクタや CAD、TIN 要素を選択したり、スタイル設定する時に使うクエリスクリプト
RLK	外部フォーマットのファイルを直接リンクする際、RVC との仲介役をするファイル。リンク情報とジオリファレンスやピラミッドなどの補助的な情報を含みます。
LOK,KOL	プロジェクトファイルが複数の処理で使われているとき、書き込みを防ぐロックファイル
FMT	テキスト形式のベクタやユーザ定義のラスタのインポートなど、インポートに関するユーザ定義のフォーマットを含みます。
GSC	地理的範囲によって表示するオブジェクトの選択に使うジオカタログ用ファイル

\* これらのアイコンがある場合、拡張子は Windows により関連付けされているので、対応する製品が起動します。

さらに知りたいことがあれば...

下記の「システムの基本操作 (Basic System Operation)」と  
「処理 (Process)」の章をご覧ください

オンラインリファレンスマニュアル

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
紀伊国屋ビル 1F  
Tel: (03)3623-2851  
Fax: (03)3623-3025  
E-mail: info@opengis.co.jp

